

日本子ども健康科学会 (子どもの心・体と環境を考える会)

子どもの心・体と環境をめぐって、従来の専門分野にとらわれない真の研究協力対策を築き、現場のニーズにこたえる研究を推進することを目指しております。

会員は、医療、教育、福祉、保健、司法、行政、心理、家族・・・と多領域にわたっています。

主な年間の活動は テーマ別研究会(数回)、学術大会(1回)、学会誌の発行(2回)です。

テーマ別研究会「研究のあり方」

2015年12月19日(土)

・「研究入門:疫学研究を中心に」

中山 健夫

(京都大学大学院医学研究科健康情報学分野)

・「質的研究とミクスドメソッド」

・「公正な研究活動」

宮崎貴久子

(京都大学大学院医学研究科健康情報学分野)

第17回日本子ども健康科学会学術大会

平成28年(2016年)3月5日(土) 6日(日)

「増加する子どもをめぐる問題の理解と対応」

テーマ1; 発達障害の研究と今日的課題

テーマ2; 子どもの病的依存を考える

テーマ3; 食物アレルギー児を支える多職種の役割

子どもたちとご家族の笑顔のために・・・

文責:事務局担当 松崎くみ子